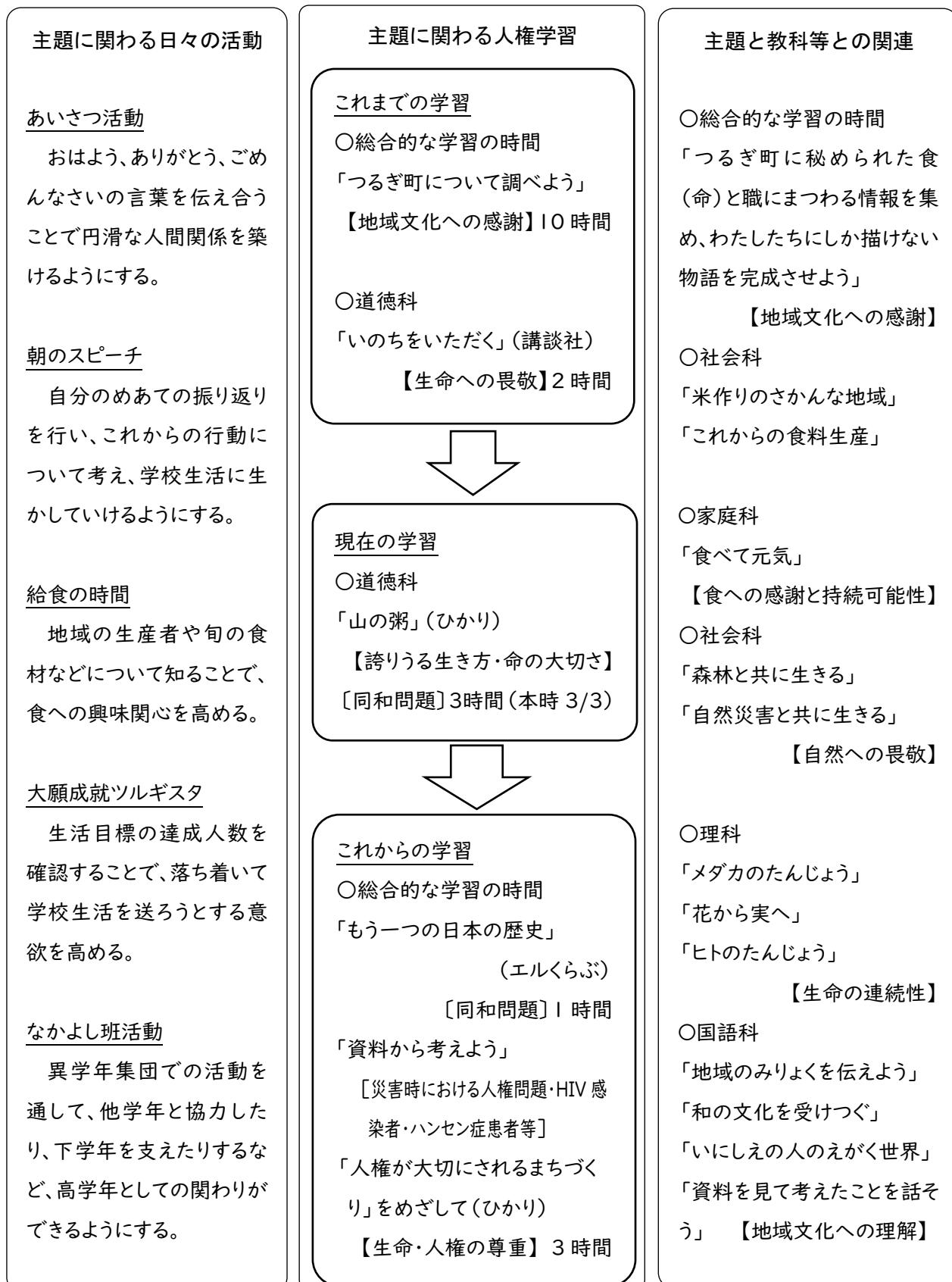


第5学年 道徳科(人権)学習指導案

- 1 主題 命の大切さ
- 2 主題設定の理由（省略）
- 3 ねらい
命の大切さを理解し、互いの人権が守られる社会をめざして行動しようとする態度を育てる。
- 4 指導計画

【 】普遍的な学習のテーマ [] 個個人権課題名



5 本時の学習

(1) 目標 厳しい差別の中でも、人間としての誇りや優しさをもって、農民を救おうとする村の人たちの生き方を通して、差別の解消をめざして行動しようとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	C-(13)公正、公平、社会正義
-------------	------------------

(2) 普遍的な学習のテーマ 誇りうる生き方・命の大切さ

個別人権課題名 同和問題

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none">○ これまでに学習したことを想起させ、本時の方向付けを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">農民を助けた村の人たちの姿から命の大切さについて学ぶ。</div>
2 飢餓に苦しむ農民を助けるかどうかについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none">○ 「日名倉山の村人会議」を設定し、自分事として考えられるようにする。○ 差別を繰り返す農民の生き方から、差別することの愚かさに気付かせる。
3 藤べえじいさんや村の人たちの生き方について話し合う。	<ul style="list-style-type: none">○ どうして月のない深夜に来るよう伝えられたのかについて考えさせる。○ 差別されても、相手のかけがえのない命を大切にする生き方をしてきたことに気付かせる。 ①
4 自分たちの生活を振り返る。	<ul style="list-style-type: none">○ いじめや差別がかけがえのない命を奪うこともあることに気付かせる。○ 村人の生き方から、自分の生き方について考え、いじめや差別をしない、させないという意欲を高める。 ②

(4) 評価

- ・ 村の人たちが厳しい差別の中にあっても、人間として命を大切に生き抜いてきたことを理解することができたか。 【知識的側面】①
- ・ 差別の解消をめざして行動しようとする意欲を高めることができたか。 【価値的・態度的側面】②